



川西小だより

学校教育目標

「学びあい 互いに認め合う
川西っ子の育成」

由布市立川西小学校

令和6年9月26日 第8号

(文責：校長 甲斐 浩司)



運動会を支える活動

9月10日、運動会の「係会議」が行われました。4年生以上の高学年は、自分の参加する競技だけでなく、運動会の運営にも関わります。今年の応援団は2名ずつです。4、2年の団員3名に指示を出すための練習に取り組みました。記録得点、準備は各1名です。優勝チームの得点を発表したり、競技準備物の出し入れをしたりします。仕事をしながら競技に参加する大変さがありますが、9月20日の小運動会でも積極的に仕事をする姿が見られました。運動会当日、競技に係活動に精一杯取り組む姿をご覧いただけたらと思います。



日本各地の踊りを学ぶ ～創作エイサー～

本年度、運動会での表現として、沖縄地方の「エイサー」をアレンジした踊りに取り組んでいます。体育館でお手本の動画や演技を見ながら練習をしました。9月14日からの3連休にはタブレットにモデル動画をダウンロードして、家庭でも練習に取り組みました。連休明けの9月17日、これまでより上達した踊りを見ることができました。9月18日からは太鼓を持つ練習となり、太鼓の音がすぐに一つに揃ったのには感心しました。運動会当日、練習を積み重ねてきた児童の、リズムに合わせた踊り、太鼓を打ち鳴らす姿などが見られるのではないかと思います。真剣に取り組む姿をご覧いただきたいと考えています。



地域に伝わる文化の伝承 ～棒踊り～

9月13日(金)、9月17日(火)の2回、棒踊り保存会の方に指導をいただき、棒踊りの練習をしました。「前、中、後ろ」の3人一組で踊ります。それぞれの動きを先生に教えていただき、3人一組を作ります。私は棒踊りの前の動きを練習したのですが、お手本があってもまだ十分ではありません。子どもたちはそれぞれのパートの動きをマスターし、2回の練習で動きながら踊れるようになりました。保護者の皆さまにもご参加いただき、大変ありがとうございました。運動会当日は、地域文化を受け継いだ児童の姿をご覧いただきたいと思います。また、3人一組の補助(3つのパートいずれかを担い、踊りに参加していただく)もよろしくお願いいたします。

